

## エクスチェンジプログラム報告書

### 1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先

佐藤修二 名古屋大学理学研究科 教授

2011年6月14日（火）～6月18日（土） 4泊5日

※15, 16日の2夜は、鹿林天文台で観測」を行った。

### 2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分

Wen Ping Chen 国立中央大学 教授

木下大輔 国立中央大学 准教授

### 3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

今回の訪問目的は、前回（2011年2月）の訪問で観測装置：3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOLの提案を行ったことに続き、TRIPOL #1を持参して、鹿林天文台LOT1m望遠鏡に搭載して、装置の性能を評価することである。以下、作業項目：

- (1) 15日（水） 装置を搭載し天体を導入
- (2) 16日（木） 偏光標準星、ダークおよびフラット視野を測定
- (3) 17日（金） 装置を撤収して、中央大学に持参。
- (4) 18日（土） 中央大学にて、チェン教授、木下准教授らとTRIPOL #2について討論

### 4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

18日（土）午前の討議の結果 7月～9月に、台湾で、TRIPOL #1で観測を継続、偏光データ解析のソフトを作成し、日本で、TRIPOL #2の設計、製作、評価を行う。

	TRIPOL #1	TRIPOL #2
2011年 7月	解析ソフト作成（台湾）	設計（日本）
8月	データ解析・評価（台湾）	製作（日本）
9月	ドキュメント作成（台湾）	評価（日本）
10月	#1撤収	鹿林LOT1mに搭載、観測

### TRIPOL #2の製作経費の見積り

○ 機械加工 40万円 ○ 光学系 170万円 ○ データ取得部 30万円 ○ CCD [60万円]

◎計 240万円 ※CCD（1台20万円x3台分=60万円）は台湾側で独自ルートで購入する以上、私と中央大学Wen Ping Chen教授とで取り決めた。6月中に経費を通知する。

上記にそって、今後 TRIPOL 計画を遂行する。

※なお、本出張に、禅野孝広氏の同行をお願いした。その経費は先方の負担である。